



經傳句解



大正一建保五年十一月  
有るは、いふに、  
前より、  
景家の子小次郎平  
古鷹ホカカ  
我身一世人  
そは、

横田漢口文庫  
清の伏見











Handwritten text in a cursive script, likely a form of Arabic or Persian calligraphy. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines across the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Arabic or Persian calligraphy. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines across the page. A small red mark is visible near the top of the first line.

東京に在りては、  
海軍省の事務を  
兼掌す。其の職務  
は、海軍の行政  
及び教育に關し  
て、海軍大臣の  
命を受け、海軍  
省の事務を執行  
す。又、海軍の  
行政に關し、海  
軍省の事務を執行  
す。其の職務は、  
海軍の行政及び  
教育に關し、海  
軍大臣の命を受け、  
海軍省の事務を  
執行す。

海軍省の事務は、  
海軍の行政及び  
教育に關し、海  
軍大臣の命を受け、  
海軍省の事務を  
執行す。其の職務  
は、海軍の行政  
及び教育に關し、  
海軍大臣の命を受け、  
海軍省の事務を  
執行す。又、海軍  
の行政に關し、海  
軍省の事務を執行  
す。其の職務は、  
海軍の行政及び  
教育に關し、海  
軍大臣の命を受け、  
海軍省の事務を  
執行す。



Handwritten text in cursive script, likely a letter or document. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines. The characters are dark and the background is aged paper.

Handwritten text in cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines. The characters are dark and the background is aged paper.



東の御方より御書奉りて見ゆに  
御方より御書奉りて見ゆに  
御方より御書奉りて見ゆに  
御方より御書奉りて見ゆに  
御方より御書奉りて見ゆに  
御方より御書奉りて見ゆに  
御方より御書奉りて見ゆに  
御方より御書奉りて見ゆに  
御方より御書奉りて見ゆに  
御方より御書奉りて見ゆに

小京へ御書奉りて見ゆに  
御方より御書奉りて見ゆに  
御方より御書奉りて見ゆに  
御方より御書奉りて見ゆに  
御方より御書奉りて見ゆに  
御方より御書奉りて見ゆに  
御方より御書奉りて見ゆに  
御方より御書奉りて見ゆに  
御方より御書奉りて見ゆに  
御方より御書奉りて見ゆに

從二位上侍後行たふ辨

建保五年九月二日

後原經房

元少年後東経房

いふふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふ

赤勢

経房行年四十八

時元仁元年壬申八月七日是

葬是見山色过杜社

世経房の池文政五年壬午之月中旬関氏より  
由一信守字三三ぬきつらりてかへりてふふふふ



